授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	公務員の全般的な仕事を理解し、公務に必要なマナー・応対力・一般常識の基礎を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	公務員の業務内容を理解し、公務員を目指す者として相応しい学生になる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 公務員全般ガイダンス 2 公務員職種別ガイダンス1 3 公務員職種別ガイダンス2 4 公務員職種別ガイダンス3 5 公務員試験研究 6 面接の基本 7 入退室の仕方、身嗜みチェック 8 模擬面接1（初級効果測定） 9 公務員試験成功体験ガイダンス 10 自己分析 11 自己ＰＲ作成 12 面接質問項目（想定質問） 13 受験先研究 14 志望動機作成 15 模擬面接2（中級効果測定）
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の結果を軸に、提出物や授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	共通選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	電卓の学習を通じ計算技能を養う、および一般教養に関する問題演習
授業の進め方	指定された範囲の問題を電卓にて計算、および一般教養問題集による演習
達成目標	電卓技能検定３・４級の合格、および一般教養知識の底上げ
教科書	検定対策テキスト・問題集、一般教養問題集
特記	
授業計画	1 電卓の基礎知識、または一般教養に関する問題演習 2 加減算・見取算練習、または一般教養に関する問題演習 3 乗除算練習・伝票算練習、または一般教養に関する問題演習 4 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 5 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 6 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 7 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 8 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 9 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 10 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 11 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 12 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 13 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 14 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 15 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習
成績評価方法 （試験実施方法）	電卓演習若しくは一般教養演習おける得点を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	共通選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 応用電卓演習① 2 応用電卓演習② 3 応用電卓演習③ 4 応用電卓演習④ 5 応用電卓演習⑤ 6 応用電卓演習⑥ 7 応用電卓演習⑦ 8 応用電卓演習⑧ 9 応用電卓演習⑨ 10 応用電卓演習⑩ 11 応用電卓演習⑪ 12 応用電卓演習⑫ 13 応用電卓演習⑬ 14 応用電卓演習⑭ 15 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	科目習熟度を測定するテストおよび授業への参加姿勢を軸に総合的に判断
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科（２年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	電卓の学習を通じ計算技能を養う、および一般教養に関する問題演習	
授業の進め方	指定された範囲の問題を電卓にて計算、および一般教養問題集による演習	
達成目標	電卓技能検定１・２級の合格、および計算力の向上	
教科書	検定対策テキストおよび問題集、一般教養問題集、適性試験問題集	
特記		
授業計画	1	電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
	2	電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
	3	電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
	4	電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
	5	電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
	6	電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
	7	電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
	8	電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
	9	電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
	10	電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
	11	電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
	12	電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
	13	電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
	14	電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
	15	電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	電卓演習および一般教養・計算問題演習の得点を中心とし総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	共通選択
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ビジネスマナーの基礎知識 2 身だしなみと立ち居振る舞い 3 敬語とビジネス用語 4 応接・接遇のマナー 5 電話応対基礎編（講義） 6 電話応対基礎編（練習） 7 電話応対基礎編（実践練習） 8 電話応対応用編（講義） 9 電話応対応用編（練習） 10 電話応対応用編（実践練習） 11 伝言を含む電話応対（講義１） 12 伝言を含む電話応対（練習１） 13 伝言を含む電話応対（講義２） 14 伝言を含む電話応対（練習２） 15 伝言を含む電話応対（実践練習１） 16 伝言を含む電話応対（実践練習２） 17 効果測定準備 18 電話応対効果測定 19 冠婚葬祭のマナー 20 郵便のマナー 21 電話での道案内 22 クレーム対応 23-27 ビジネスマナー実務 28-30 ビジネスマナー総合
成績評価方法 （試験実施方法）	筆記試験および効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	共通選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会で求められる一般的なレベルのWordとExcel等の操作方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのPCスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 パソコンの基本操作１ 2 パソコンの基本操作２ 3 パソコンの基本操作３ 4 パソコンの基本操作４ 5 パソコンの基本操作５ 6 パソコンの基本操作６ 7 OS/Officeの基本（座学） 8 Wordの基本操作１ 9 Wordの基本操作２ 10 Wordの基本操作３ 11 Word効果測定 12 Excel基本操作１ 13 Excel基本操作２ 14 Excel基本操作３ 15 Excel効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	共通選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成と管理① 2 文章の作成と管理② 3 文章の作成と管理③ 4 表作成の基本操作① 5 表作成の基本操作② 6 表作成の基本操作③ 7 表、画像、図形を使った文書の作成（２）① 8 表、画像、図形を使った文書の作成（２）② 9 表、画像、図形を使った文書の作成（２）③ 10 見やすく使いやすい表にする編集操作① 11 見やすく使いやすい表にする編集操作② 12 見やすく使いやすい表にする編集操作③ 13 見やすく使いやすい表にする編集操作④ 14 見やすく使いやすい表にする編集操作⑤ 15 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定１級に合格する
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名・熟語 2 同音異義・異字同訓 3 誤字訂正、類義語・反対語 4 漢字の意味・使い方 5 漢字の意味・使い方２ 6 ことわざ・故事成語・慣用句 7 特殊な漢字の読み書き 8 項目別模擬試験１ 9 項目別模擬試験２ 10 項目別模擬試験３ 11 直前模擬試験１ 12 直前模擬試験２ 13 直前模擬試験３ 14 直前模擬試験４ 15 直前模擬試験５
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科（２年制）	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	面接試験に向けての準備作業法を修得し、春試験に向けた面接指導を行う	
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する	
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	官公庁研究・エントリーシート・面接カード作成１
	2	官公庁研究・エントリーシート・面接カード作成２
	3	官公庁研究・エントリーシート・面接カード作成３
	4	面接講義
	5	面接効果測定
	6	模擬面接Ⅰ準備
	7	模擬面接Ⅰ準備
	8	模擬面接Ⅰ１
	9	模擬面接Ⅰ２
	10	模擬面接Ⅰ３
	11	模擬面接Ⅱ準備
	12	模擬面接Ⅱ準備
	13	模擬面接Ⅱ１
	14	模擬面接Ⅱ２
	15	模擬面接Ⅱ３
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、提出物や授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	面接試験に向けての準備作業法を修得し、春試験2試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる
教科書	なし
特記	
授業計画	1 官公庁研究・エントリーシート・面接カード作成１ 2 官公庁研究・エントリーシート・面接カード作成２ 3 官公庁研究・エントリーシート・面接カード作成３ 4 面接講義 5 面接効果測定 6 模擬面接Ⅰ準備 7 模擬面接Ⅰ準備 8 模擬面接Ⅰ１ 9 模擬面接Ⅰ２ 10 模擬面接Ⅰ３ 11 模擬面接Ⅱ準備 12 模擬面接Ⅱ準備 13 模擬面接Ⅱ１ 14 模擬面接Ⅱ２ 15 模擬面接Ⅱ３
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、提出物や授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Excel基礎
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理① 2 ワークシートやブックの作成と管理② 3 セルやセル範囲のデータの管理① 4 セルやセル範囲のデータの管理② 5 テーブルの作成① 6 テーブルの作成② 7 テーブルの作成③ 8 関数を使用してのデータ集計① 9 関数を使用してのデータ集計② 10 関数を使用してのデータ集計③ 11 関数を使用しての条件付き計算④ 12 関数を使用しての条件付き計算⑤ 13 関数を使用しての条件付き計算⑥ 14 関数を使用した文字列の整形や変更① 15 関数を使用した文字列の整形や変更② 16 関数を使用した文字列の整形や変更③ 17 グラフの作成① 18 グラフの作成② 19 グラフの作成③ 20 グラフの書式設定① 21 グラフの書式設定② 22 グラフの書式設定③ 23 グラフの書式設定④ 24 グラフの書式設定⑤ 25 オブジェクトの挿入や書式設定① 26 オブジェクトの挿入や書式設定② 27 オブジェクトの挿入や書式設定③ 28 オブジェクトの挿入や書式設定④ 29 オブジェクトの挿入や書式設定⑤ 30 オブジェクトの挿入や書式設定⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 応用漢字の訓読み・送り仮名① 2 応用漢字の訓読み・送り仮名② 3 応用漢字の熟語① 4 応用漢字の熟語② 5 応用漢字の熟語③ 6 応用漢字の異字同訓・同音異義 7 応用漢字の誤字訂正① 8 応用漢字の誤字訂正②・類義語 9 応用漢字の反対語 10 応用漢字の意味・使い方① 11 応用漢字の意味・使い方② 12 応用漢字項目別模擬試験① 13 応用漢字項目別模擬試験② 14 応用漢字直前模擬試験① 15 応用漢字直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験ならびに課題により総合的に判断
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人マナー 2 冠婚葬祭マナー 3 贈答マナー 4 会食マナー 5 時事研究 6 グループ討議 7 グループ討議 8 グループ討議 9 グループ討議 10 グループ討議 11 グループ討議 12 グループ討議 13 グループ討議 14 グループ討議 15 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Word基礎
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成① 2 文章の作成② 3 文章内の移動① 4 文章内の移動② 5 文章の書式設定① 6 文章の書式設定② 7 文章の書式設定③ 8 文章の書式設定④ 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ① 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ② 12 オプションの設定、表示のカスタマイズ③ 13 文章の印刷、保存① 14 文章の印刷、保存② 15 文章の印刷、保存③ 16 文章の印刷、保存④ 17 文字列・段落の挿入① 18 文字列・段落の挿入② 19 文字列・段落の挿入③ 20 文字列・段落の挿入④ 21 文字列・段落の書式設定① 22 文字列・段落の書式設定② 23 文字列・段落の書式設定③ 24 文字列・段落の書式設定④ 25 文字列・段落の書式設定⑤ 26 文字列・段落の並び替え、グループ化① 27 文字列・段落の並び替え、グループ化② 28 文字列・段落の並び替え、グループ化③ 29 文字列・段落の並び替え、グループ化④ 30 文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Power Point基礎
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並べ替え、グループ化① 9 スライドの並べ替え、グループ化② 10 スライドの並べ替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行② 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎数的Ｉ　数的推理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	５２時間
授業コマ数	２６コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	題意を理解し解答することで、論理的思考力と数的処理力を養う
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 数と文字式の計算 2 方程式（方程式、不定方程式） 3 方程式（不等式、過不足算） 4 整数・計算パズル（約数と倍数） 5 整数・計算パズル（割り算の余り、整数の性質） 6 整数・計算パズル（数列、ｎ進法） 7 整数・計算パズル（その他、整数に関する問題） 8 科目試験第１回 9 割合と比（割合、比） 10 割合と比（比） 11 割合と比（売買算） 12 割合と比（濃度） 13 割合と比（濃度） 14 速さ（速さ） 15 速さ（旅人算） 16 速さ（旅人算、通過算） 17 速さ（流水算、時計算） 18 科目試験第２回 19 その他文章題（仕事算、給排水算） 20 その他文章題（仕事算、給排水算、ニュートン算） 21 その他文章題（年齢算） 22 その他文章題（平均算） 23 場合の数（場合の数） 24 場合の数（順列、重複組合せ、円順列）、確率（事象と確率） 25 確率（赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値） 26 科目試験第３回
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎数的Ⅱ　判断推理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	３６時間
授業コマ数	１８コマ
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 論理（対偶と三段論法） 2 論理（ド・モルガンの法則、論理と集合） 3 集合の要素（ベン図） 4 集合の要素（キャロル表、交わりの最小値）、順序（順序の確定） 5 順序（順序の変動） 6 順序（順序の数値条件） 7 順序（時計のずれ）、方位・位置（位置・座席表） 8 方位・位置（位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて） 9 科目試験１回目、方位・位置（円卓・議長席・道をへだてて） 10 方位・位置（方位・作図）、対応（対応関係） 11 対応（対応関係、スケジュール表） 12 対応（スケジュール表、対応の数値条件、やりとり） 13 勝敗（リーグ戦、トーナメント戦） 14 うそつき 15 暗号 16 推理・手順（他人の判断から判断する） 17 推理・手順（カードゲーム、石取りゲーム、てんびん） 18 科目試験２回目、推理・手順（手順）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎数的Ⅲ 空間把握 ・資料解釈
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	４４時間
授業コマ数	２２コマ
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	図形（平面・立体ともに）から物体の形状を正しく読み解く力を養う
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 回転と軌跡（直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡） 2 道順・一筆書き・位相（道順、一筆書き・位相）、平面構成（折り紙） 3 平面構成（図形中の図形の数、平面図形の分割、平面図形の合成） 4 正多面体・展開図（正多面体、展開図） 5 立体構成（サイコロ） 6 立体構成（積木の問題、投影図） 7 科目試験１回目・総復習 8 立体構成（立体の切断、回転体） 9 平面図形の計量（角度） 10 平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理） 11 平面図形の計量（相似比） 12 平面図形の計量（面積比） 13 科目試験２回目・平面図形の計量（円） 14 平面図形の計量（円、扇形と移動図形） 15 立体図形の計量（立体の体積） 16 立体図形の計量（立体の表面積・断面積） 17 立体図形の計量（立体の体積比） 18 科目試験３回目・総復習 19 資料解釈（実数・割合） 20 資料解釈（構成比） 21 資料解釈（指数・増加率） 22 資料解釈（相関図・三角グラフ・総復習）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎社会科学Ⅰ　政治
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	３２時間
授業コマ数	１６コマ
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 政治の基本概念（国家論） 2 政治制度論（社会契約説、三権分立） 3 政治制度論（各国の政治制度） 4 日本国憲法の特色、基本的人権総論 5 幸福追求権、平等権 6 自由権 7 社会権、受益権 8 憲法改正の手続き、国会の機構と運営 9 国会の機構と運営 10 内閣の機構と運営 11 裁判所の機構と運営 12 裁判所の機構と運営、地方自治 13 地方自治 14 政治過程論（選挙制度） 15 政治過程論（選挙制度） 16 政治の基本概念
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎社会科学Ⅱ　経済
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ
授業概要	金融政策・財政政策・外国為替など、経済の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な経済の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 経済社会の変容 2 現代の企業 3 現代の市場 4 国民所得 5 経済成長と景気循環 6 通貨制度と金融政策 7 財政制度と財政政策 8 財政制度と財政政策 9 日本経済の動向 10 貿易と外国為替 11 貿易と外国為替 12 国際経済の動向 13 国際経済の動向
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎社会科学Ⅲ　社会
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ ※８コマ目のみ６０分
授業概要	労働問題・環境問題など、社会分野の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な社会問題の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会理論 2 労働問題 3 社会保障 4 社会保障 5 環境問題 6 環境問題 7 国際関係 8 科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎自然科学Ⅰ　生物
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	生体から自然環境まで、幅広い生物分野を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	生体における知識を身に着ける。自然環境や生態系への理解を深める
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 生体の構造１ 2 生体の構造２ 3 生体内の代謝１ 4 生体内の代謝２ 5 生殖と発生 6 遺伝と変異 7 刺激の受容と反応 8 内部環境の恒常性と調節 9 からだの防衛反応 10 生物の集団・生物の進化と系統
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語Ⅰ　文理・国語	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科（２年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	１５時間	
授業コマ数	８コマ	
授業概要	文章読解と基礎的な国語を並行して進める	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる基礎的な読解力と国語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	要旨把握１、文法１、四字熟語１、ことわざ１、文学史１
	2	要旨把握２、文法２、四字熟語２、ことわざ２、文学史２
	3	内容合致１、文法３、四字熟語３、ことわざ３、文学史３
	4	内容合致２、文法４、四字熟語４、ことわざ４、文学史４
	5	文章整序、文法５、四字熟語５、ことわざ５、文学史５
	6	空欄補充、文法６、四字熟語６、ことわざ６、文学史６
	7	演習問題、文法７、四字熟語７、ことわざ７、文学史７
	8	文法８、四字熟語８、ことわざ８、文学史８
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合教養演習Ⅰ　基礎教養
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	５６時間
授業コマ数	２８コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、数的推理・政治・文章理解の知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	一般教養力検定２級に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる
教科書	分野別学習オリジナルプリント、模擬試験
特記	
授業計画	1 出題科目の分野別学習１ 2 出題科目の分野別学習２ 3 出題科目の分野別学習３ 4 出題科目の分野別学習４ 5 出題科目の分野別学習５ 6 出題科目の分野別学習６ 7 出題科目の分野別学習７ 8 一般教養力検定２級タイプの模擬試験１ 9 模擬試験の解説（知能系科目） 10 模擬試験の解説（知識系科目） 11 一般教養力検定２級タイプの模擬試験２ 12 模擬試験の解説（知能系科目） 13 模擬試験の解説（知識系科目） 14 一般教養力検定２級タイプの模擬試験３ 15 模擬試験の解説（知能系科目） 16 模擬試験の解説（知識系科目） 17 一般教養力検定２級タイプの模擬試験４ 18 模擬試験の解説（知能系科目） 19 模擬試験の解説（知識系科目） 20 一般教養力検定２級タイプの模擬試験５ 21 模擬試験の解説（知能系科目） 22 模擬試験の解説（知識系科目） 23 一般教養力検定２級タイプの模擬試験６ 24 模擬試験の解説（知能系科目） 25 模擬試験の解説（知識系科目） 26 一般教養力検定２級タイプの模擬試験７ 27 模擬試験の解説（知能系科目） 28 模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合教養演習Ⅱ　実践教養
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	５６時間
授業コマ数	２８コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、数的推理・判断推理・空間把握・文章理解・政治・経済・社会の知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	一般教養力検定１級に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる
教科書	分野別学習オリジナルプリント、模擬試験
特記	
授業計画	1 出題科目の分野別学習１ 2 出題科目の分野別学習２ 3 出題科目の分野別学習３ 4 出題科目の分野別学習４ 5 出題科目の分野別学習５ 6 出題科目の分野別学習６ 7 出題科目の分野別学習７ 8 一般教養力検定１級タイプの模擬試験１ 9 模擬試験の解説（知能系科目） 10 模擬試験の解説（知識系科目） 11 一般教養力検定１級タイプの模擬試験２ 12 模擬試験の解説（知能系科目） 13 模擬試験の解説（知識系科目） 14 一般教養力検定１級タイプの模擬試験３ 15 模擬試験の解説（知能系科目） 16 模擬試験の解説（知識系科目） 17 一般教養力検定１級タイプの模擬試験４ 18 模擬試験の解説（知能系科目） 19 模擬試験の解説（知識系科目） 20 一般教養力検定１級タイプの模擬試験５ 21 模擬試験の解説（知能系科目） 22 模擬試験の解説（知識系科目） 23 一般教養力検定１級タイプの模擬試験６ 24 模擬試験の解説（知能系科目） 25 模擬試験の解説（知識系科目） 26 一般教養力検定１級タイプの模擬試験７ 27 模擬試験の解説（知能系科目） 28 模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	事前の官庁企業研究を経てその後官公庁の方々から業務内容等を学び、公務員の仕事内容の理解を深める
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	官公庁の職員による講義を基にした演習
授業計画	1 官庁研究① 2 官庁研究② 3 実務経験者における講義① 4 実務経験者における講義② 5 実務経験者における講義③ 6 レポート作成① 7 レポート作成② 8 アンケート及び振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員時事対策
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修A
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	国内問題・国際問題問わず幅広いジャンルの社会時事を学ぶ
授業の進め方	1項目15分程度で、重要な時事ワードを軸に内容を解説し、問題演習を行う
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 時事（政治分野１） 2 時事（政治分野２） 3 時事（政治分野３） 4 時事（経済分野１） 5 時事（経済分野２） 6 時事（文化１） 7 時事（文化２） 8 時事（文化３） 9 時事（科学１） 10 時事（科学２） 11 時事（科学３） 12 時事（科学４） 13 時事（科学５） 14 時事（国際問題１） 15 時事（国際問題２）
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの得点を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験対策演習	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科（２年制）	
履修年次	２年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択必修A	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	適性検査練習１
	2	適性検査練習２
	3	適性検査練習３
	4	適性検査練習４
	5	適性検査練習５
	6	適性検査練習６
	7	適性検査練習７
	8	適性検査練習８
	9	適性検査練習９
	10	適性検査練習１０
	11	適性検査練習１１
	12	適性検査練習１２
	13	適性検査練習１３
	14	適性検査練習１４
	15	適性検査練習１５
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理実務Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修B
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	オリジナルテキスト・参考書
特記	
授業計画	1 経理・総務の年間カリキュラム 2 小切手・手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 4 当座預金出納帳と手形記入帳 5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分 6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理① 7 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務① 8 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）① 9 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）① 10 個人住民税の徴収及び納付① 11 印紙税の基礎知識 12 受取利息の会計処理 13 消費税法の概要① 14 消費税の会計処理 15 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）①
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	給与計算実務
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修B
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 所得税の基礎知識① 2 所得税の基礎知識② 3 所得税の基礎知識③ 4 年末調整のしかた① 5 年末調整のしかた② 6 年末調整のしかた③ 7 法定調書の流れ① 8 法定調書の流れ② 9 法定調書の流れ③ 10 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出① 11 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出② 12 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③ 13 労働保険の概要及び会計処理① 14 労働保険の概要及び会計処理② 15 労働保険の概要及び会計処理③
成績評価方法 （試験実施方法）	科目習熟度を測定するテストの結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング概論
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修C
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する
授業の進め方	講義・事案研究・店舗実習により知識の習得を図り、コンテストで客観的視点を学ぶ。
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 顧客満足① 2 顧客満足② 3 マーケティングの必要性① 4 マーケティングの必要性② 5 情報収集と分析① 6 情報収集と分析② 7 流通チャネル① 8 流通チャネル② 9 プロモーション① 10 プロモーション② 11 財務知識① 12 財務知識② 13 財務知識⑤ 14 事例研究① 15 事例研究② 16 店舗実習事前指導 17 店舗実習① 18 店舗実習② 19 店舗実習③ 20 マーケティング（課題抽出） 21 マーケティング（仮説立案） 22 マーケティング（企画立案①） 23 マーケティング（企画立案②） 24 研究中間発表 25 企画案再検証① 26 企画案再検証② 27 企画案再検証③ 28 代表者コンテスト① 29 代表者コンテスト② 30 代表者コンテスト③
成績評価方法 (試験実施方法)	インターン企業評価、学校評価、マーケティングコンテスト採点評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング基礎
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修C
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 店舗データの理解 2 マーケティングの流れ 3 売上構成分析 4 来店客分析 5 商品分析 6 費用分析 7 課題抽出 8 アンケート調査分析 9 顧客満足 10 マーケティングの必要性 11 情報収集と分析 12 流通チャネル 13 プロモーション 14 財務知識 15 事例研究
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎人文科学Ｉ　地理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	気候、地形、世界各国の産業など地理の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な地理の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 世界の地形（山地と平野） 2 世界の地形（様々な地形） 3 世界の気候（熱帯、乾燥帯、冷帯、寒帯） 4 世界の気候（温帯） 5 世界の農業（アジア、ヨーロッパ） 6 世界の農業（アメリカ、オセアニア） 7 世界の資源 8 世界の工業 9 世界地誌（アジア、アフリカ） 10 世界地誌（ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア） 11 生活と地域 12 日本地誌
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎人文科学Ⅱ　日本史
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	２８時間
授業コマ数	１４コマ
授業概要	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な日本史の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 大和政権と大化の改新 2 平安時代 3 平安時代の文化 4 鎌倉時代 5 室町時代 6 鎌倉時代と室町時代の文化 7 封建社会の確立 8 江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革） 9 江戸時代（幕末） 10 明治維新 11 立憲体制の確立 12 近代文化の発展 13 大正時代 14 昭和時代
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎人文科学Ⅲ　東洋史・近代史
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	中国・朝鮮半島の歴代王朝と第二次世界大戦以降の世界史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な近隣国および近代歴史の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 殷、周、秦、漢 2 魏晋南北朝、隋、唐 3 宋、元 4 明、清 5 清の崩壊 6 ヴェルサイユ体制 7 第二次世界大戦 8 第二次世界大戦後の世界
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎人文科学Ｖ　倫理・文学・芸術
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	西洋および東洋の倫理や芸術、文学を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な倫理・芸術・文学の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 古代ギリシャの思想家、経験論・合理論・観念論 2 功利主義、プラグマティズム、実存主義 3 日本の思想家、諸子百家 4 西洋美術 5 西洋文学 6 西洋音楽、西洋建築 7 江戸時代までの日本文学 8 明治時代以降の日本文学
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎自然科学Ⅱ　地学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	地球の内部構造から宇宙まで、幅広い地学分野を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	地球を中心とした、自然環境を理解し知識を広げる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 地球の姿と動く大地 2 地震 3 岩石 4 大気と海洋 5 気象現象、日本の四季 6 太陽系と宇宙の構造 7 太陽系と惑星 8 恒星の世界
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅲ　物理	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科（２年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	１６時間	
授業コマ数	８コマ	
授業概要	基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを知る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現
	2	力
	3	運動方程式
	4	エネルギー
	5	運動量、熱
	6	波動
	7	電気
	8	電気と磁気、原子
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎自然科学Ⅳ　化学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	物質の仕組みや物質の変化をについての知識として深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	化学理論の理解と化学各論（無機化合物）についての知識を深める
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 物質の構造１ 2 物質の構造２ 3 物質の状態１ 4 物質の状態２ 5 物質の変化１ 6 物質の変化２ 7 無機化合物１ 8 無機化合物２
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎演習Ｉ　数的処理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	数的処理の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 方程式、不等式 2 整数、計算パズル１ 3 整数、計算パズル２、割合と比１ 4 割合と比２、速さ 5 速さ、仕事算、場合の数１ 6 場合の数２、確率 7 科目試験１ 8 論理、集合と要素の個数 9 順序 10 対応 11 位置と方位、勝ち負け 12 勝ち負け、カード、ウソの発言 13 推理・手順、暗号 14 科目試験２ 15 折り紙、回転の軌跡、正多面体、展開図 16 平面図形の構成、サイコロ 17 見取り図と投影図、積木、立体の切断、回転体、一筆書き 18 平面図形の計量１ 19 平面図形の計量２、立体図形の計量 20 科目試験３
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	科目試験１・科目試験２の実施コマにつき、授業計画と変更になることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎演習Ⅱ　社会科学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	２８時間
授業コマ数	１４コマ
授業概要	政治・経済の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	公務に必要な社会科学分野の基礎知識を定着させる
教科書	オリジナル問題集・配布プリント
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、政治制度論 2 基本的人権① 3 基本的人権② 4 国会の機構と運営 5 内閣の機構と運営 6 裁判所の機構と運営 7 地方自治、選挙制度 8 科目試験１ 9 現代の企業、現代の市場 10 国民所得 11 通貨制度と金融政策 12 財政制度と財政政策 13 貿易と外国為替、国際経済の動向 14 科目試験２
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎演習Ｖ　知能系科目総合
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	問題演習を通じて数的推理・判断推理の総復習を行う
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	数的推理・判断推理分野の基礎知識を定着させる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 実力試験1 2 数的推理の基礎知識の復習（方程式） 3 数的推理の基礎知識の復習（不等式） 4 数的推理の基礎知識の復習（整数） 5 数的推理の基礎知識の復習（整数） 6 数的推理の基礎知識の復習（計算パズル） 7 数的推理の基礎知識の復習（比） 8 数的推理の基礎知識の復習（速さ） 9 数的推理の基礎知識の復習（速さ） 10 数的推理の基礎知識の復習（仕事算） 11 数的推理の基礎知識の復習（場合の数） 12 数的推理の基礎知識の復習（確率） 13 模擬試験1 14 判断推理の基礎知識の復習（論理） 15 判断推理の基礎知識の復習（集合と要素の個数） 16 判断推理の基礎知識の復習（順序） 17 判断推理の基礎知識の復習（対応） 18 判断推理の基礎知識の復習（位置と方位） 19 判断推理の基礎知識の復習（位置と方位） 20 判断推理の基礎知識の復習（勝ち負け） 21 判断推理の基礎知識の復習（カード・ゲーム） 22 判断推理の基礎知識の復習（推理・手順） 23 判断推理の基礎知識の復習（暗号・家系図） 24 実力試験2 25 模擬試験2 26-29 文章理解・国語・作文総合演習 30 模擬試験3
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点および課題提出状況を総合的に評価 ※但し、実力試験の得点は成績評価に影響しない
備考	各講義内容の習熟度を鑑み、講義範囲を変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎演習Ⅵ　知識系科目総合
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	問題演習を通じて知識系科目全体の総復習を行う
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	公務に必要な一般教養の幅広い知識を定着させる
教科書	配布プリント等
特記	
授業計画	1 政治の基礎知識の復習（国家と政治制度） 2 政治の基礎知識の復習（基本的人権） 3 政治の基礎知識の復習（基本的人権） 4 政治の基礎知識の復習（統治機構） 5 政治の基礎知識の復習（地方自治） 6 政治の基礎知識の復習（選挙制度） 7 模擬試験1 8 経済の基礎知識の復習（現代の企業と市場） 9 経済の基礎知識の復習（国民所得） 10 経済の基礎知識の復習（金融政策・財政政策） 11 経済の基礎知識の復習（日本経済の動向） 12 経済の基礎知識の復習（貿易と外国為替） 13 経済の基礎知識の復習（国際経済の動向） 14 経済の基礎知識の復習（国際経済の動向） 15 社会の基礎知識の復習（社会理論） 16 社会の基礎知識の復習（労働問題と環境問題） 17 模擬試験2 18 実力試験 19-22 社会科学分野総復習 23-26 人文科学分野総復習1 27-29 自然科学分野総復習1 30 模擬試験3
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点および課題提出状況を総合的に評価 ※但し、実力試験の得点は成績評価に影響しない
備考	各模擬試験の実施コマつき、授業計画と変更になることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎答案練習
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	基礎的な内容の模擬試験で全問題の半数以上の正解を目標とする
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 基礎的なレベルの模擬試験１ 2 基礎的なレベルの模擬試験１の解説・復習 3 基礎的なレベルの模擬試験２ 4 基礎的なレベルの模擬試験２の解説・復習 5 模擬受験（受験申込書作成） 6 模擬受験（教養試験） 7 模擬受験（作文/ES・適性試験） 8 模擬受験（面接試験）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験・模擬受験における得点を軸とし授業態度を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザイン基礎
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	効果測定を通して面接の基礎を修得し、試験に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 公務員全般ガイダンス 2 公務員職種別ガイダンス 3 面接の基本 4 公務員試験研究 5 入退室の仕方、身嗜みチェック 6 面接効果測定1（初級効果測定） 7 自己分析 8 面接質問項目（想定質問） 9 自己PR作成 10 受験先研究 11 志望動機作成 12-13 集団討論対策 14 効果測定準備 15 面接効果測定2（中級効果測定） 16-23 職種別試験ガイダンス 24-25 官庁研究 26-27 模擬面接準備（試験種Ⅰ） 28-30 模擬面接（試験種Ⅰ） 31-32 模擬面接準備（試験種Ⅱ） 23-35 模擬面接（試験種Ⅱ） 36-37 模擬面接準備（試験種Ⅲ） 38-40 模擬面接（試験種Ⅲ） 41-42 模擬面接準備（試験種Ⅳ） 43-45 模擬面接（試験種Ⅳ）
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定および授業への参加姿勢で評価
備考	授業実施順序は入替をすることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験対策講義	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科（２年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	適性検査パターン１、パターン２の解答方法及び練習
	2	適性検査パターン３、パターン４の解答方法及び練習
	3	適性検査パターン５、パターン６の解答方法及び練習
	4	適性検査練習１
	5	適性検査練習２
	6	適性検査練習３
	7	適性検査練習４
	8	適性検査練習５
	9	適性検査練習６
	10	適性検査練習７
	11	適性検査練習８
	12	適性検査練習９
	13	適性検査練習１０
	14	適性検査練習１１
	15	適性検査練習１２
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	実務経験のある講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成し、実習にも参加する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	元横浜消防教官鎌田氏および官公庁関係者による公務員職に関する研究
授業計画	1 消防職経験者講義1（消防官に求められる資質） 2 消防職経験者講義2（自助・共助・公助） 3 消防職経験者講義3（消防と我が人生） 4 官公庁実務者講義1 5 官公庁実務者講義2 6 官公庁実務者講義3 7 官公庁実務者講義4 8 研究レポート
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公共ボランティア実習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 ボランティアの基礎知識 2 自治体とボランティア 3 ボランティア実体験① 4 ボランティア実体験② 5 ボランティア実体験③ 6 ボランティア実体験④ 7 ボランティア実体験⑤ 8 ボランティア実体験⑥ 9 ボランティア実体験⑦ 10 ボランティア実体験⑧ 11 ボランティア実体験⑨ 12 ボランティア実体験⑩ 13 ボランティア実体験⑪ 14 ボランティア実体験⑫ 15 ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎人文科学Ⅳ　古代史・西洋史
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１８時間
授業コマ数	９コマ
授業概要	古代およびヨーロッパ世界を中心とした世界の歴史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な西欧社会の歴史の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 四大文明、古代ギリシャ、古代ローマ 2 中世ヨーロッパ 3 ルネサンス、大航海時代、宗教改革 4 絶対主義 5 イギリス市民革命、アメリカ独立革命 6 フランス革命 7 ウィーン体制 8 19世紀のヨーロッパ 9 第一次世界大戦
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎数学Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	基本的な数学計算の能力を身に着け、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	数と式、二次方程式を中心に、基礎的な知識と計算技術を身に着ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 数と式 2 数と式 3 数と式 4 方程式 5 方程式 6 関数 7 式と図形・不等式と領域 8 科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語Ⅱ　英語	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科（２年制）	
履修年次	２年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	１５時間	
授業コマ数	８コマ　※８コマ目は６０分	
授業概要	基礎的な英文法を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務で求められる基礎的な英語力を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	be動詞・動詞、熟語
	2	疑問文・感嘆文、熟語
	3	過去形・現在進行形、熟語
	4	現在完了・過去完了、熟語
	5	長文読解、英会話、熟語
	6	長文読解、英会話、熟語
	7	長文読解、英会話、熟語
	8	科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎演習Ⅲ　人文科学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	歴史・地理の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	一般教養として必要な人文科学分野の基礎知識を定着させる
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 日本史（原始・古代・中世Ⅰ） 2 日本史（中世Ⅱ・近世） 3 日本史（近代以降） 4 地理（自然環境と地図） 5 地理（資源と産業・生活と地域） 6 地理（日本地誌・世界地誌Ⅰ） 7 地理（世界地誌Ⅱ） 8 科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅳ　自然科学	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科（２年制）	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	１６時間	
授業コマ数	８コマ	
授業概要	生物・地学の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	生物（生体の構造、生体内の代謝）
	2	生物（生殖と発生、遺伝と変異）
	3	生物（刺激の受容と反応、内部環境の恒常性と調節）
	4	生物（生物の集団、生物の進化と系統）
	5	地学（地球の姿と動く大地）
	6	地学（岩石、地球と人類）
	7	地学（大気と海洋、太陽系と宇宙の構造）
	8	科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	応用演習Ｉ　数的処理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	実践問題集
特記	
授業計画	1 論理・集合の要素の個数 2 順序・対応 3 位置と方位・勝ち負け 4 カード・ゲーム・嘘の発言・推理・手順・暗号 5 方程式・不等式・整数・計算パズル 6 割合と比・速さ・仕事算 7 場合の数・確率 8 折り紙・回転の軌跡・正多面体・展開図 9 平面図形の構成・サイコロ・見取り図と投影図・積木 10 立体の切断・回転体・一筆書き・平面図形の計量１ 11 平面図形の計量２・立体図形の計量 12 資料解釈・科目試験
成績評価方法 （試験実施方法）	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	各回の授業につき、順序を入れ替えすることがある また、模擬試験を用いた演習スタイルとする場合がある

/

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	応用演習Ⅱ　社会科学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	２８時間
授業コマ数	１４コマ
授業概要	問題演習を通じ、政治・経済の応用知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	社会科学分野に関するより幅広い知識を習得する
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、政治制度論 2 基本的人権① 3 基本的人権② 4 国会の機構と運営 5 内閣の機構と運営 6 地方自治、選挙制度 7 現代の企業、現代の市場 8 国民所得 9 通貨制度と金融政策 10 財政制度と財政政策 11 貿易と外国為替 12 国際経済の動向 13 社会総合 14 科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	応用演習Ⅲ　人文科学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	問題演習を通じ、地理・歴史の応用知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	人文科学分野に関するより幅広い知識を習得する
教科書	実践問題集
特記	
授業計画	1 平安時代 2 鎌倉時代・室町時代 3 江戸時代 4 明治時代 5 大正時代・昭和時代 6 東洋世界史 7 西洋世界史 8 現代世界史・通史 9 科目試験1（歴史分野） 10 世界の地形・気候 11 世界の農業 12 世界の資源・工業 13 日本地誌・世界地誌（アジア） 14 世界地誌（アフリカ・ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア） 15 科目試験2（地理分野）
成績評価方法 （試験実施方法）	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	各回の授業につき、順序を入れ替えすることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	応用演習Ⅳ　自然科学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	問題演習を通じ、物理・化学の応用知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	自然科学分野に関数より幅広い知識を習得する
教科書	実践問題集
特記	
授業計画	1 物理（運動の表現） 2 物理（力） 3 物理（エネルギー・運動量・熱） 4 物理（波動・電気・電気と磁気・原子） 5 化学（物質の構造） 6 化学（物質の状態） 7 化学（物質の変化） 8 化学（無機化合物・生活と環境の化学）
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	各回の授業につき、順序を入れ替えすることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合答案練習Ｉ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	８４時間
授業コマ数	４２コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	基礎的な内容から一部応用レベルを含む模擬試験で半数以上を正解する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1･2 各職種総合タイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説・復習 3･4 各職種総合タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説・復習 5･6 各職種総合タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説・復習 7･8 各職種総合タイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説・復習 9･10 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説・復習 11･12 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説・復習 13･14 各職種総合タイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説・復習 15･16 各職種総合タイプの模擬試験６・当該模擬試験の解説・復習 17･18 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説・復習 19･20 各職種総合タイプの模擬試験７・当該模擬試験の解説・復習 21･22 各職種総合タイプの模擬試験８・当該模擬試験の解説・復習 23･24 各職種総合タイプの模擬試験９・当該模擬試験の解説・復習 25･26 各職種総合タイプの模擬試験１０・当該模擬試験の解説・復習 27･28 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説・復習 29･30 海上保安学校タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説 31･32 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説・復習 33･34 自衛官タイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説・復習 35･36 自衛官タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説・復習 37･38 各職種総合タイプの模擬試験１１・当該模擬試験の解説・復習 39･40 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験６・当該模擬試験の解説・復習 41･42 各職種総合タイプの模擬試験１２・当該模擬試験の解説・復習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	４８時間
授業コマ数	２４コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	基礎レベルから一部応用問題を含む模擬試験において全問題の7割以上の正解を目標とする
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 国家公務員タイプの模擬試験１ 2 地方公務員タイプの模擬試験１ 3･4 地方公務員タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説・復習 5･6 地方公務員タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説・復習 7･8 国家公務員タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説・復習 9･10 地方公務員タイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説・復習 11･12 国家公務員タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説・復習 13･14 国家公務員タイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説・復習 15･16 国家公務員タイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説・復習 17･18 地方公務員タイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説・復習 19･20 地方公務員タイプの模擬試験６・当該模擬試験の解説・復習 21･22 地方公務員タイプの模擬試験７・当該模擬試験の解説・復習 23･24 地方公務員タイプの模擬試験８・当該模擬試験の解説・復習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	１０８時間
授業コマ数	５４コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1･2 実戦的なタイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説・復習 3･4 実戦的なタイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説・復習 5･6 実戦的なタイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説・復習 7･8 実戦的なタイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説・復習 9･10 実戦的なタイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説・復習 11･12 実戦的なタイプの模擬試験６・当該模擬試験の解説・復習 13･14 国家公務員タイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説・復習 15･16 実戦的なタイプの模擬試験７・当該模擬試験の解説・復習 17･18 実戦的なタイプの模擬試験８・当該模擬試験の解説・復習 19･20 地方公務員タイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説・復習 21･22 地方公務員タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説・復習 23･24 地方公務員タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説・復習 25･26 国家公務員タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説・復習 27･28 地方公務員タイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説・復習 29･30 国家公務員タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説・復習 31･32 国家公務員タイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説・復習 33･34 国家公務員タイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説・復習 35･36 地方公務員タイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説・復習 37･38 地方公務員タイプの模擬試験６・当該模擬試験の解説・復習 39･40 実戦的なタイプの模擬試験９・当該模擬試験の解説・復習 41･42 警察官タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説・復習 43･44 実戦的なタイプの模擬試験１０・当該模擬試験の解説・復習 45･46 地方公務員タイプの模擬試験７・当該模擬試験の解説・復習 47･48 地方公務員タイプの模擬試験８・当該模擬試験の解説・復習 49･50 地方公務員タイプの模擬試験９・当該模擬試験の解説・復習 51･52 地方公務員タイプの模擬試験１０・当該模擬試験の解説・復習 53･54 地方公務員タイプの模擬試験１１・当該模擬試験の解説・復習
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	１０２時間
授業コマ数	５１コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 過去問タイプの模擬試験１ 2･3 過去問タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説 4･5 過去問タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説 6･7 過去問タイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説 8･9 過去問タイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説 10･11 過去問タイプの模擬試験６・当該模擬試験の解説 12･13 過去問タイプの模擬試験７・当該模擬試験の解説 14･15 過去問タイプの模擬試験８・当該模擬試験の解説 16･17 過去問タイプの模擬試験９・当該模擬試験の解説 18･19 過去問タイプの模擬試験１０・当該模擬試験の解説 20･21 過去問タイプの模擬試験１１・当該模擬試験の解説 22･23 過去問タイプの模擬試験１２・当該模擬試験の解説 24･25 過去問タイプの模擬試験１３・当該模擬試験の解説 26･27 過去問タイプの模擬試験１４・当該模擬試験の解説 28･29 過去問タイプの模擬試験１５・当該模擬試験の解説 30･31 過去問タイプの模擬試験１６・当該模擬試験の解説 32･33 過去問タイプの模擬試験１７・当該模擬試験の解説 34･35 過去問タイプの模擬試験１８・当該模擬試験の解説 36･37 過去問タイプの模擬試験１９・当該模擬試験の解説 38･39 過去問タイプの模擬試験２０・当該模擬試験の解説 40･41 過去問タイプの模擬試験２１・当該模擬試験の解説 42･43 過去問タイプの模擬試験２２・当該模擬試験の解説 44･45 過去問タイプの模擬試験２３・当該模擬試験の解説 46･47 過去問タイプの模擬試験２４・当該模擬試験の解説 48･49 過去問タイプの模擬試験２５・当該模擬試験の解説 50･51 過去問タイプの模擬試験２６・当該模擬試験の解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	総合的なレベルの模擬試験で正答率6割以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 総合的なタイプの模擬試験１ 2 模擬試験１の解説 3 総合的なレベルの模擬試験２ 4 模擬試験２の解説 5 総合的なレベルの模擬試験３ 6 模擬試験３の解説 7 総合的なレベルの模擬試験４ 8 模擬試験４の解説 9 総合的なレベルの模擬試験５ 10 模擬試験５の解説 11 総合的なレベルの模擬試験６ 12 模擬試験６の解説 13 総合的なレベルの模擬試験７ 14 模擬試験７の解説 15 総合的なレベルの模擬試験８
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員時事研究
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 情報収集と考察　テーマ１ 2 情報収集と考察　テーマ２ 3 情報収集と考察　テーマ３ 4 情報収集と考察　テーマ４ 5 情報収集と考察　テーマ５ 6 情報収集と考察　テーマ６ 7 情報収集と考察　テーマ７ 8 情報収集と考察　テーマ８ 9 情報収集と考察　テーマ９ 10 情報収集と考察　テーマ１０ 11 情報収集と考察　テーマ１１ 12 情報収集と考察　テーマ１２ 13 情報収集と考察　テーマ１３ 14 情報収集と考察　テーマ１４ 15 情報収集と考察　テーマ１５
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物の内容を評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザイン総合
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	１２０時間
授業コマ数	６０コマ
授業概要	10試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	なし
特記	
授業計画	1-3 模擬面接準備（試験種Ⅰ） 4-6 模擬面接（試験種Ⅰ） 7-9 模擬面接準備（試験種Ⅱ） 10-12 模擬面接（試験種Ⅱ） 13-15 模擬面接準備（試験種Ⅲ） 16-18 模擬面接（試験種Ⅲ） 19-21 模擬面接準備（試験種Ⅳ） 22-24 模擬面接（試験種Ⅳ） 25-27 模擬面接準備（試験種Ⅴ） 28-30 模擬面接（試験種Ⅴ） 31-33 模擬面接準備（試験種Ⅵ） 34-36 模擬面接（試験種Ⅵ） 37-39 模擬面接準備（試験種Ⅶ） 40-42 模擬面接（試験種Ⅶ） 43-45 模擬面接準備（試験種Ⅷ） 46-48 模擬面接（試験種Ⅷ） 49-51 模擬面接準備（試験種Ⅸ） 52-54 模擬面接（試験種Ⅸ） 55-57 模擬面接準備（試験種Ⅹ） 58-60 模擬面接（試験種Ⅹ）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢で評価
備考	模擬面接準備・模擬面接には集団討論対策も含む

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 適性試験練習１ 2 適性試験練習２ 3 適性試験練習３ 4 適性試験練習４ 5 適性試験練習５ 6 適性試験練習６ 7 適性試験練習７ 8 適性試験練習８ 9 適性試験練習９ 10 適性試験練習１０ 11 適性試験練習１１ 12 適性試験練習１２ 13 適性試験練習１３ 14 適性試験練習１４ 15 適性試験練習１５ 16 適性試験練習１６ 17 適性試験練習１７ 18 適性試験練習１８ 19 模擬試験（適性試験）１ 20 模擬試験（適性試験）２ 21 模擬試験（適性試験）３ 22 模擬試験（適性試験）４ 23 模擬試験（適性試験）５ 24 模擬試験（適性試験）６ 25 模擬試験（適性試験）７ 26 模擬試験（適性試験）８ 27 模擬試験（適性試験）９ 28 模擬試験（適性試験）１０ 29 模擬試験（適性試験）１１ 30 模擬試験（適性試験）１２
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験におけるで評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員教養論作文対策
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 論作文の書き方と正しい用紙の使い方 2 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習１ 3 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習２ 4 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習３ 5 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習４ 6 作文練習１ 7 作文練習２ 8 作文練習３ 9 作文練習４ 10 作文練習５ 11 作文練習６ 12 作文練習７ 13 作文練習８ 14 作文練習９ 15 作文練習１０
成績評価方法 (試験実施方法)	提出した作文の完成度を中心に、取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公官庁講話	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科（２年制）	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	２０時間	
授業コマ数	１０コマ	
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める	
授業の進め方	現役公務員の話を聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする	
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する	
教科書	なし	
特記	国家公務員及び地方公務員で実務経験のある教員による授業	
授業計画	1	職種別ガイダンス１
	2	職種別ガイダンス２
	3	職種別ガイダンス３
	4	職種別ガイダンス４
	5	職種別ガイダンス５
	6	職種別ガイダンス６
	7	職種別ガイダンス７
	8	職種別ガイダンス８
	9	職種別ガイダンス９
	10	職種別ガイダンス１０
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、提出物の完成度などによって評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員倫理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	
授業の進め方	講義をもとに、各自研究課題を作成する
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける
教科書	なし
特記	国家公務員若しくは地方公務員で実務経験のある教員による授業
授業計画	1 税制の理解① 2 税制の理解② 3 税制の理解③ 4 税制に関するレポート作成 5 公務員の倫理と服務規程① 6 公務員の倫理と服務規程② 7 公務員の倫理と服務規程③ 8 服務規定に関するレポート作成
成績評価方法 (試験実施方法)	提出レポートの完成度によって評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	国家公務員若しくは地方公務員で実務経験のある教員による授業
授業計画	1 実務経験者における講義① 2 個人研究 3 グループワーク① 4 グループワーク② 5 グループワーク③ 6 グループワーク④ 7 実務経験者における講義②（プレゼンテーション・総評） 8 振り返り
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ　　※８コマ目は６０分
授業概要	地方行政に関する講義を行い、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	講義後、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	国家公務員若しくは地方公務員で実務経験のある教員による授業
授業計画	1 地方行政に関する講義① 2 個人研究 3 グループワーク① 4 グループワーク② 5 グループワーク③ 6 グループワーク④ 7 地方行政に関する講義②（プレゼンテーション・総評） 8 振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法律研究
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ
授業の進め方	講義で与えられた課題について研究し、研究レポートを作成する
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	トゥモロー法律事務所松本知朗弁護士による、弁護士としての実践的知識を基にした講義と実習
授業計画	1 法律概論（講義） 2 民法①（講義） 3 民法課題研究 4 民法② 5 民法課題研究 6 憲法①（講義） 7 憲法②（講義） 8 憲法課題研究 9 行政法①（講義） 10 行政法②（講義） 11 行政法課題研究 12 刑法①（講義） 13 刑法課題研究 14 刑法②（講義） 15 刑法課題研究
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果をまとめたレポートの内容で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政研究	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科（２年制）	
履修年次	２年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究および発表を通じて防災への理解を深める	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記	防衛省自衛隊による講義を基にした演習	
授業計画	1	災害対策の枠組み（講義）
	2	課題研究１
	3	課題研究２
	4	課題研究３
	5	課題研究４
	6	課題研究５
	7	課題研究６
	8	課題研究７
	9	研究発表シナリオ作成１
	10	研究発表シナリオ作成２
	11	模擬プレゼンテーション準備
	12	模擬プレゼンテーション
	13	研究発表準備１
	14	研究発表準備２
	15	研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 (試験実施方法)	プレゼンテーションの評価を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	応用演習Ｖ　数的処理本試験対策
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	数的分野全般について、更なる問題演習による試験直前の応用力強化
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	実戦問題集
特記	
授業計画	1 数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策１ 2 数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策２ 3 数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策３ 4 数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策４ 5 数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策５ 6 数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策６ 7 数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策７ 8 数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策８ 9 数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策９ 10 数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策１０ 11 数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策１１ 12 数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策１２
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ＦＰ基礎
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	共通選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０コマ
授業概要	日常生活に関わる様々な「お金」の知識を身につける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	ＦＰ３級の基礎知識を理解し、日常生活に関わる様々な「お金」の知識を身につけ、説明できるようになる。また、資産運用や管理、そのリスクについて簡単に説明できるようになる
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画

1	ライフプランニングと資金計画①	31	タックスプランニング①
2	ライフプランニングと資金計画②	32	タックスプランニング②
3	ライフプランニングと資金計画③	33	タックスプランニング③
4	ライフプランニングと資金計画④	34	タックスプランニング④
5	ライフプランニングと資金計画⑤	35	
6	ライフプランニングと資金計画⑥	36	タックスプランニング⑥
7	ライフプランニングと資金計画⑦	37	タックスプランニング⑦
8	ライフプランニングと資金計画⑧	38	タックスプランニング⑧
9	ライフプランニングと資金計画⑨	39	タックスプランニング⑨
10	ライフプランニングと資金計画⑩	40	タックスプランニング⑩
11	ライフプランニングと資金計画⑪	41	タックスプランニング⑪
12	ライフプランニングと資金計画⑫	42	タックスプランニング⑫
13	リスク管理①	43	不動産①
14	リスク管理②	44	不動産②
15	リスク管理③	45	不動産③
16	リスク管理④	46	不動産④
17	リスク管理⑤	47	不動産⑤
18	リスク管理⑥	48	不動産⑥
19	リスク管理⑦	49	不動産⑦
20	リスク管理⑧	50	不動産⑧
21	リスク管理⑨	51	不動産⑨
22	金融資産運用①	52	相続・事業承継①
23	金融資産運用②	53	相続・事業承継②
24	金融資産運用③	54	相続・事業承継③
25	金融資産運用④	55	相続・事業承継④
26	金融資産運用⑤	56	相続・事業承継⑤
27	金融資産運用⑥	57	相続・事業承継⑥
28	金融資産運用⑦	58	相続・事業承継⑦
29	金融資産運用⑧	59	相続・事業承継⑧
30	金融資産運用⑨	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売知識基礎
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	共通選択
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 販売員の役割① 2 販売員の役割② 3 販売員の役割③ 4 販売員の法廷知識① 5 販売員の法廷知識② 6 販売員の法廷知識③ 7 小売業の計数管理① 8 小売業の計数管理② 9 小売業の計数管理③ 10 店舗管理① 11 店舗管理② 12 店舗管理③ 13 店舗管理④ 14 店舗管理⑤ 15 店舗管理⑥ 16 流通における小売業① 17 流通における小売業② 18 流通における小売業③ 19 流通における小売業④ 20 流通における小売業⑤ 21 流通における小売業⑥ 22 組織形態別小売業① 23 組織形態別小売業② 24 組織形態別小売業③ 25 店舗形態別小売業① 26 店舗形態別小売業② 27 店舗形態別小売業③ 28 商業集積① 29 商業集積② 30 商業集積③ 31 商業集積④ 32 商業集積⑤ 33 商業集積⑥ 34 小売業のマーケティング① 35 36 小売業のマーケティング③ 37 小売業のマーケティング④ 38 小売業のマーケティング⑤ 39 小売業のマーケティング⑥ 40 顧客満足経営① 41 顧客満足経営② 42 顧客満足経営③ 43 顧客満足経営④ 44 顧客満足経営⑤ 45 顧客満足経営⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売知識応用
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	共通選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	リテールマーケティング検定３級レベルの知識を理解し身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	営業・販売の経歴をもつ教員による授業
授業計画	1 証券の設定と出店① 2 証券の設定と出店② 3 証券の設定と出店③ 4 リージョナルプロモーション① 5 リージョナルプロモーション② 6 リージョナルプロモーション③ 7 顧客志向型売り場づくり① 8 顧客志向型売り場づくり② 9 顧客志向型売り場づくり③ 10 ストアオペレーション① 11 ストアオペレーション② 12 ストアオペレーション③ 13 ストアオペレーション④ 14 ストアオペレーション⑤ 15 ストアオペレーション⑥ 16 梱包技術① 17 梱包技術② 18 梱包技術③ 19 ディスプレイ① 20 ディスプレイ② 21 ディスプレイ③ 22 商品① 23 商品② 24 商品③ 25 マーチャンダイジング① 26 マーチャンダイジング② 27 マーチャンダイジング③ 28 マーチャンダイジング④ 29 マーチャンダイジング⑤ 30 マーチャンダイジング⑥ 31 商品計画① 32 商品計画② 33 商品計画③ 34 販売計画及び仕入れ計画① 35 36 販売計画及び仕入れ計画③ 37 価格設定① 38 価格設定② 39 価格設定③ 40 在庫管理① 41 在庫管理② 42 在庫管理③ 43 販売管理① 44 販売管理② 45 販売管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ＩＴパスポート基礎
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	共通選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の
達成目標	社会人として必要な情報技術の専門用語の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画			
	1	企業活動①	31
	2	企業活動②	32
	3	法務①	33
	4	法務②	34
	5	経営戦略マネジメント①	35
	6	経営戦略マネジメント②	36
	7	技術戦略マネジメント①	37
	8	技術戦略マネジメント②	38
	9	ビジネスインダストリ①	39
	10	ビジネスインダストリ②	40
	11	システム戦略①	41
	12	システム戦略②	42
	13	システム企画①	43
	14	システム企画②	44
	15	システム開発技術①	45
	16	システム開発技術②	
	17	ソフトウェア開発管理技術①	
	18	ソフトウェア開発管理技術②	
	19	プロジェクトマネジメント①	
	20	サービスマネジメント①	
	21	サービスマネジメント②	
	22	システム監査①	
	23	システム監査②	
	24	基礎理論①	
	25	基礎理論②	
	26	アルゴリズムとプログラミング①	

	27 28 29 30	アルゴリズムとプログラミング② コンピュータ構成要素① コンピュータ構成要素② システム構成要素①	
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの結果を軸に、授		
備考			

用語を理解する
の定着を図る
得を目的とする
ソフトウェア①
ソフトウェア②
ハードウェア①
ヒューマンインターフェース①
データベース①
データベース②
データベース③
ネットワーク①
ネットワーク②
ネットワーク③
セキュリティ①
セキュリティ②
セキュリティ③
セキュリティ④

授業概要・達成目標の

実務経験者の講義の際は、その旨を必ず明記

行の過不足は、その都度調整してください。

業への参加姿勢を含め総合的に評価

授業概要（シラバス

タイトル	
授業科目	ＩＴ
実務家教員	
学部・学科	公務
履修年次	１年
開講学期	後期
科目区分	共通
授業方法	講義
授業時間	３０
授業コマ数	１５
授業概要	ネッ
授業の進め方	テキ
達成目標	社会
教科書	オリ
特記	
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15
成績評価方法 （試験実施方法）	
備考	

.)

内容
リテラシ
員学科（２年制）
次
選択
時間
コマ
トワーク、セキュリティの知識とコンピュータの基本操作を学ぶ
ストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
人として必要な情報リテラシの基礎を身に付ける
ジナルテキスト
コンピュータシステムの構成① コンピュータシステムの構成② コンピュータシステムの構成③ ネットワークテクノロジ① ネットワークテクノロジ② ネットワークテクノロジ③ ネットワークの構築と運用① ネットワークの構築と運用② ネットワークの構築と運用③ ネットワークの構築と運用④ 情報セキュリティ① 情報セキュリティ② 情報セキュリティ③ 情報セキュリティ④ 情報セキュリティ⑤
確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト

授業概要

実務経験
義の際は、

行の過不足
の都度調整

・達成

者の講
、その

は、そ
してく

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	事務キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	共通選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	事務職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 事務職に適したスーツの着こなし 2 事務職に適した身だしなみ 3 敬語の使い方 4 事務職で良く聞かれる質疑応答① 5 事務職で良く聞かれる質疑応答② 6 筆記試験とは（一般常識試験）① 7 筆記試験とは（一般常識試験）② 8 筆記試験とは（適性検査試験）① 9 筆記試験とは（適性検査試験）② 10 作文の目的・形式と内容① 11 作文の目的・形式と内容② 12 作文の実践テクニック① 13 作文の実践テクニック② 14 作文の実践テクニック③ 15 作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科（２年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	事務職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	事務職内定へ向けた志望理由を作れるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1～15	業界研究 企業セミナー（5社～6社）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	共通選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	民間企業就業経験のある教員による監修講義。販売・接客・企画職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	販売・接客・企画職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 販売・接客・企画職に適したスーツの着こなし 2 販売・接客・企画職に適した身だしなみ 3 敬語の使い方 4 販売・接客・企画職で良く聞かれる質疑応答① 5 販売・接客・企画職で良く聞かれる質疑応答② 6 筆記試験とは（一般常識試験）① 7 筆記試験とは（一般常識試験）② 8 筆記試験とは（適性検査試験）① 9 筆記試験とは（適性検査試験）② 10 作文の目的・形式と内容① 11 作文の目的・形式と内容② 12 作文の実践テクニック① 13 作文の実践テクニック② 14 作文の実践テクニック③ 15 作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	共通選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	民間企業就業経験のある教員による監修講義。販売・接客・企画職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	販売・接客・企画職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト・配布プリント
特記	
授業計画	1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集① 4 会社四季報、新聞からの情報収集② 5 総合職と一般職 6 販売・接客・企画職職種研究① 7 販売・接客・企画職職種研究② 8 販売・接客・企画職職種研究③ 9 販売・接客・企画職職種研究④ 10 販売・接客・企画職職種研究⑤ 11 販売・接客・企画職への志望理由① 12 販売・接客・企画職への志望理由② 13 販売・接客・企画職への志望理由③ 14 販売・接客・企画職への志望理由④ 15 販売・接客・企画職への志望理由⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	流通キャリアデザインⅠで学んだ内容をより深める

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	事務職ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	共通選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	電話応対、接遇に関する実践的な演習をし、習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 事務職の1日の流れ 2 電話応対応用 3 電話応対応用 4 電話応対応用 5 接遇の流れ 6 接遇の流れ 7 接遇の流れ 8 演習（ロールプレイング） 9 演習（ロールプレイング） 10 演習（ロールプレイング） 11 演習（ロールプレイング） 12 演習（ロールプレイング） 13 演習（ロールプレイング） 14 効果測定 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売職ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	接客に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 接客販売、営業マナーとは① 2 接客販売、営業マナーとは② 3 接客販売、営業マナーとは③ 4 接客販売の心得① 5 接客販売の心得② 6 接客販売の心得③ 7 お客様の心理① 8 お客様の心理② 9 お客様の心理③ 10 店内接客の基本① 11 店内接客の基本② 12 店内接客の基本③ 13 演習① 14 演習② 15 演習③ 16 営業の心得① 17 営業の心得② 18 営業の心得③ 19 営業の心得④ 20 訪問の流れ① 21 訪問の流れ② 22 訪問の流れ③ 23 訪問の流れ④ 24 演習① 25 演習② 26 演習③ 27 商談の進め方① 28 商談の進め方② 29 商談の進め方③ 30 商談の進め方④ 31 商品説明① 32 商品説明② 33 商品説明③ 34 商品説明④ 35 36 演習① 37 演習② 38 演習③ 39 演習④ 40 総合演習① 41 総合演習② 42 総合演習③ 43 効果測定① 44 効果測定② 45 効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ＦＰ総合
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	共通選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業回数	１５回
授業概要	「お金」に関する総合的な知識を深め、経済社会との関係性を理解する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	ＦＰ３級に合格できるレベルの知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 ライフプランニングと資金計画①（応用編） 2 ライフプランニングと資金計画②（応用編） 3 ライフプランニングと資金計画③（応用編） 4 リスク管理①（応用編） 5 リスク管理②（応用編） 6 金融資産運用①（応用編） 7 金融資産運用②（応用編） 8 タックスプランニング①（応用編） 9 タックスプランニング②（応用編） 10 タックスプランニング③（応用編） 11 不動産①（応用編） 12 不動産②（応用編） 13 相続・事業承継①（応用編） 14 相続・事業承継②（応用編） 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ライフプランニング概論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	共通選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	健康保険や公的年金等に関する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ライフプランニングと資金計画① 2 ライフプランニングと資金計画② 3 ライフプランニングと資金計画③ 4 ライフプランニングと資金計画④ 5 ライフプランニングと資金計画⑤ 6 ライフプランニングと資金計画⑥ 7 ライフプランニングと資金計画⑦ 8 ライフプランニングと資金計画⑧ 9 ライフプランニングと資金計画⑨ 10 ライフプランニングと資金計画⑩ 11 ライフプランニングと資金計画⑪ 12 ライフプランニングと資金計画⑫ 13 まとめ　総復習① 14 まとめ　総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	リスク管理概論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	共通選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	保険制度に関する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 リスク管理① 2 リスク管理② 3 リスク管理③ 4 リスク管理④ 5 リスク管理⑤ 6 リスク管理⑥ 7 リスク管理⑦ 8 リスク管理⑧ 9 リスク管理⑨ 10 リスク管理⑩ 11 リスク管理⑪ 12 リスク管理⑫ 13 まとめ　総復習① 14 まとめ　総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科（２年制）	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	金融資産、経済等に関連する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	金融資産運用①
	2	金融資産運用②
	3	金融資産運用③
	4	金融資産運用④
	5	金融資産運用⑤
	6	金融資産運用⑥
	7	金融資産運用⑦
	8	金融資産運用⑧
	9	金融資産運用⑨
	10	金融資産運用⑩
	11	金融資産運用⑪
	12	金融資産運用⑫
	13	まとめ　総復習①
	14	まとめ　総復習②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	タックスプランニング概論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	共通選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	所得税を中心に専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 タックスプランニング① 2 タックスプランニング② 3 タックスプランニング③ 4 タックスプランニング④ 5 タックスプランニング⑤ 6 タックスプランニング⑥ 7 タックスプランニング⑦ 8 タックスプランニング⑧ 9 タックスプランニング⑨ 10 タックスプランニング⑩ 11 タックスプランニング⑪ 12 タックスプランニング⑫ 13 まとめ　総復習① 14 まとめ　総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	不動産運用設計概論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	共通選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	不動産に関連する法律や規制など専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語や法律を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 不動産① 2 不動産② 3 不動産③ 4 不動産④ 5 不動産⑤ 6 不動産⑥ 7 不動産⑦ 8 不動産⑧ 9 不動産⑨ 10 不動産⑩ 11 不動産⑪ 12 不動産⑫ 13 まとめ　総復習① 14 まとめ　総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	共通選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	相続・贈与等に関連する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 相続・事業継承① 2 相続・事業継承② 3 相続・事業承継③ 4 相続・事業承継④ 5 相続・事業承継⑤ 6 相続・事業承継⑥ 7 相続・事業承継⑦ 8 相続・事業承継⑧ 9 相続・事業承継⑨ 10 相続・事業承継⑩ 11 相続・事業承継⑪ 12 相続・事業承継⑫ 13 まとめ　総復習① 14 まとめ　総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	時事
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	共通選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報取集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 用語知識① 2 用語知識② 3 用語知識③ 4 用語知識④ 6 考え方① 7 考え方② 8 考え方③ 9 考え方④ 10 発表① 11 発表② 12 発表③ 13 個人研究① 14 個人研究② 15 個人研究③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科（２年制）	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ｂ	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	自己分析、自己PRの作成を通じての対人コミュニケーション能力を身に着ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	自己分析、自己PRの完成及び発表	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己PRとは
	2	自己分析の方法・注意点
	3	自己分析作業
	4	自己分析作業
	5	自己分析作業
	6	自己PRの作り方
	7	自己PRの作成作業
	8	自己PRの作成作業
	9	自己PRの作成作業
	10	自己PRの作成作業
	11	自己PRの作成作業
	12	自己PR修正作業
	13	自己PR修正作業
	14	自己PR発表
	15	自己PR発表
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 グループディスカッションとは 2 グループディスカッションの役割 3 抽象テーマ型グループディスカッション① 4 抽象テーマ型グループディスカッション② 5 抽象テーマ型グループディスカッション③ 6 課題解決型グループディスカッション① 7 課題解決型グループディスカッション② 8 課題解決型グループディスカッション③ 9 資料読み取り型グループディスカッション① 10 資料読み取り型グループディスカッション② 11 資料読み取り型グループディスカッション③ 12 フェルミ推定 13 KJ法 14 その他特殊型① 15 その他特殊型②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売仕入管理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	共通選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 売上事務の流れ 2 納品書の作成と売上計上① 3 納品書の作成と売上計上② 4 請求書の作成と代金回収管理① 5 請求書の作成と代金回収管理② 6 請求書の作成と代金回収管理③ 7 複数の得意先との取引① 8 複数の得意先との取引② 9 複数の得意先との取引③ 10 仕入事務の流れ 11 仕入管理の記帳① 12 仕入管理の記帳② 13 仕入代金の支払いと買掛金管理① 14 仕入代金の支払いと買掛金管理② 15 仕入代金の支払いと買掛金管理③
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

ビジネス学科 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	卒業研究・発表
実務家教員	
学部・学科	公務員学科（２年制）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画

1	オリエンテーション①	26	マーケティング（課題抽出③）
2	オリエンテーション②	27	マーケティング（仮説立案①）
3	業界情報収集①	28	マーケティング（仮説立案②）
4	業界情報収集②	29	マーケティング（仮説立案③）
5	業界情報収集③	30	
6	業界情報収集④	31	マーケティング（企画立案②）
7	業界情報収集⑤	32	マーケティング（企画立案③）
8	業界分析①	33	マーケティング（企画立案④）
9	業界分析②	34	マーケティング（企画立案⑤）
10	業界分析③	35	研究結果中間発表①
11	業界分析④	36	研究結果中間発表②
12	業界分析⑤	37	研究結果中間発表③
13	店舗実習事前指導①	38	企画案再検証①
14	店舗実習事前指導②	39	企画案再検証②
15	店舗研究①	40	企画案再検証③
16	店舗研究②	41	企画案再検証④
17	店舗実習①	42	卒業研究発表①
18	店舗実習②	43	卒業研究発表②
19	店舗実習③	44	卒業研究発表③
20	店舗実習②	45	振返り
21	店舗実習④		
22	店舗実習⑤		
23	店舗実習⑥		
24	マーケティング（課題抽出①）		
25	マーケティング（課題抽出②）		

成績評価方法 (試験実施方法)	インターン企業評価、学校評価、マーケティングコンテスト採点評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（英会話）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	**公務員学科（2年制）**
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	外国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	基本的な英会話の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 英語基礎① 2 Self Introductions 3 Basic Conversation and Responses 4 英語基礎② 5 Everyday Conversation 6 Expressing Feelings 7 英語基礎③ 8 Emotions, Reactions, and Wh- Questions 9 Daily Life 10 英語基礎④ 11 Daily Life 2: Hospitality 12 Daily Life 3: Telephoning 13 英語基礎⑤ 14 Responding to Foreign Visitors 15 Review
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（中国語） Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	**公務員学科（2年制）**	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ｂ	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る。	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	中国語発音の基礎(1)　四つの声調・六つの基本母音・複合母音
	2	中国語発音の基礎(2)　21の子音・鼻音・声調変化
	3	中国語発音の基礎(3)　声調と変調・ｒ化現象・発音のおさらい
	4	簡単な日常挨拶(1)　人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について
	5	簡単な日常挨拶(2)　基本的語順（是or動詞を述語とする場合）・丁寧語について
	6	数字を覚えよう　年,月,日,曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」
	7	数字の活用　こんな時「是」は省略される・金額の言い方・否定を表す「不」時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」
	8	存在・所有の表現　動詞「有」・否定「没有」・「什么」＋名詞
	9	場所の表現　場所指示代名詞「这里」「那里」「哪里」・前置詞構造「在」
	10	買い物をする／値段を聞く＆値段交渉する　人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了」
	11	乗り換えと両替　「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看々」
	12	電話をする→「是～的」の構文・結果補語　約束する→ある経験を表す文型「動詞＋过～」・まだ～していない「还没(有)～」
	13	確認する→もうすぐ～「要～了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「～、还是～」
	14	お客さんの出迎え＆歓迎会　連体修飾語としての動詞，動詞構造，主述構造・程度補語　「得」
	15	別れを告げる＆総復習　仮説を表す「～的话」，「要是～就～」・これまで習ってきた内容を総復習する
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（韓国語）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	**公務員学科（2年制）**
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	共通選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	韓国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	１．読み書きができる。 ２．以下の簡単な会話ができる ①挨拶＆自己紹介 ②買い物でのやりとり ③店での注文 ④道などを尋ねる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 オリエンテーション；韓国語に関する豆知識　基本母音 2 基本子音①説明＆子音「Ｋ」　復習と会話 3 小テスト　基本子音②－「Ｎ」＆「Ｔ」＆「Ｒ」　基本子音③－「Ｍ」＆「Ｐ」＆「Ｓ」 4 復習と会話　基本子音④－「J」＆「H」＋まとめ 5 小テスト　激音①－「Ｃｈ」＆「Ｋｈ」　復習と会話 6 激音②－「Ｔｈ」＆「Ｐｈ」＋まとめ　濃音①－「KK」＆「TT」＆「PP」 7 小テスト　復習と会話　濃音②－「SS」＆「JJ」＋まとめ 8 パッチム①〔P20の説明、P23N〕　復習と会話 9 小テスト　パッチム②〔P20K、P21B〕　パッチム③〔P22M、P21NG〕 10 復習と会話　パッチム④〔P23L、P22T〕＋まとめ 11 小テスト　合成母音①〔P25＆26の説明〕　復習と会話 12 合成母音②〔P27、28〕　〈1課〉私は日本人です。 13 小テスト　宿題チェック　〈1課〉私は日本人です。 14 まとめ　〈1課〉宿題チェック／総復習 15 最終到達度確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	